

作業上衣（建・建女）仕様書

行 財 政 局 人 事 部 給 与 課

（担当：高橋、堀川 電話：２２２－３２２６）

仕 様 書

1. 品 名

作業上衣（建・建女）共通

2. 納 品

納品数 7 1 1 着

納品期限 令和8年6月30日

納品場所 建設局各所属、開発指導課、建築審査課、文化芸術企画課、文化財保護課、資産管理課、サービス事業推進室、中央卸売市場第一・第二市場、農林振興室、各農業振興センター、市立病院、動物愛護センター など
※納品場所は変更となる可能性がある。

3. 生 地

生地は次の生地規格又は同等品以上とし、染色後の生地見本（10 cm四方以上）及び生地メーカーの品質証明書・出荷引受書・公的機関等の試験成績を提出すること。

（過去に納入実績がある場合、公的機関の試験結果は写しでも可とする）

開札日以降に速やかに、要求課に承認を受け、必ず開札日を含め3日（日数計算に当たっては、休日を除く）後の午後5時までに、同等品報告書と共に提出すること。

上記期限までに提出が無い場合は、入札参加資格がないものとし、その者の入札は無効と致します。

4. 生地規格

項 目		規 格	試 験 方 法
1.混 紡 率		ポリエステル80% 綿 20%（内、導電糸1%） （縦横5 mm間隔リップストップ）	JIS L 1030
2.糸 番 手		（経）32/1 （緯）170d	JIS L 1096
3.組 織		平 織	JIS L 1096
4.密 度（インチ間）		（経）72本以上 （緯）72本以上	JIS L 1096 A法
5.巾×長さ（cm×m）		150cm×50m	JIS L 1096 A法
6.重 量（g/m ² ）		155g/m ² 以上	JIS L 1096 A法
7.引張強さ（N）		（経）950以上 （緯）800以上	JIS L 1096 A法 （ラベルドストリップ法）
8.伸び率（%）		（経）17以上 （緯）50以上	
9.引裂強さ（N）		（経）52以上 （緯）68以上	JIS L 1096 A-1法 （シングルタンク法）
10.寸法変化率		（経）±1%以内 （緯）±1%以内	JIS L 1096 D法
11.堅 牢 度	耐 光	4級以上	JIS L 0842
	洗 濯	4級以上	JIS L 0844
	摩 擦	4級以上	JIS L 0849
	汚 染	4級以上	JIS L 0848

*1 色相につきましては要求課に提出し承認を受ける事とする。

5. 付属材料

区 分	仕 様	用 途
芯 地	<p>衿；一般的に衿芯として使用されている接着芯で良質のもので 当局の承認を得たもの。</p> <p>その他；一般的に使用されているポリエステル65%以上混紡芯 の上質なもので当局の承認を得たもの。</p>	<p>衿</p> <p>カフス</p> <p>前立</p> <p>雨蓋</p>
衿 吊	表生地もしくは当局の承認を得たもの。	衿
縫 糸	<p>本縫はポリエステル系の中番手（30～60 S）</p> <p>その他についてはポリエステル系の細番手（50～80 S）</p>	表地と同系色
釦	四つ穴釦（13mm）指定色	<p>前立</p> <p>カフス</p>
パイピング	当局の承認を得たもの。3 mm巾 指定色	<p>前肩ヨーク</p> <p>背ヨーク</p>
メッシュ	ナイロン100%メッシュ(指定色)、当局の承認を得たもの。	<p>脇下</p> <p>背ヨーク</p>

6. 構造

(1) 型式

カッターシャツ型、前立て釦式、左右胸ポケット、両脇下メッシュ
背中ヨークフラシ（内側メッシュ）（別図 1）

(2) 条件

ア 針数

3 cm間 12 針以上

イ 裁縫

糸調子は上下ともにツレ・タルミのないようにし返し針を完全にする。

7. 縫製仕様

(1) 衿

衿幅は中央で 5.0 cm、衿先は幅 7.5 cmで縫合部は地縫い割りとする。全面に所定の芯地を入れ、周囲は地縫い返し、端飾りミシンとし、衿台（中央幅 4.0 cm）で挟み縫いとする。

(2) 前立

幅 3.0 cmとし全面に所定の芯地を入れ、着用した場合、衿元にツレ、タルミの生じないようにすること。前立ては四つ穴釦 6 個付とし第 1 釦は衿台中央、衿付けから 5 cm下を

第2釦とし、その後は等間隔にて付ける。(L寸標準：11 cm間隔)

(3) 胸ポケット

所定の位置に幅 14 cm、縦 18 cmのポケットヒダ付（ヒダ幅 4.5 cm）のアウトポケットを左右胸部に縫着し、ポケット上部には、幅 15 cm、高さ 5.5 cmの雨蓋を縫着し、ポケット上部は 2 cm幅の二つ折りとし端はオーバーロック仕立とする。(別図 2)
左ポケットの雨蓋端より 2.0 cmの位置に幅 3.0 cmのペン刺しを付ける。
雨蓋の周囲は地縫い端飾り縫いとする。左右雨蓋は身頃に挟み込む。
左胸ポケット上部 2.0 cmには、京都市市章を指定色（白色）にてプリントを施す。

(4) 脇・ヨーク

脇部分には通気性を考慮し所定のメッシュ生地を縫着し、透け防止で脇部はメッシュ 2重仕立とする。前身頃肩合せ部には、パイピングテープを挟み込む。
後身頃の背ヨークにも通気性を考慮しフラシ仕立とし、内側にはメッシュ生地を表生地と 2.0 cm重ねコバステッチにて縫着する。メッシュ生地については所定の生地とする。
背ヨーク左右端より 9 cmの位置と中央にコの字ステッチにて 3箇所押さえを入れ、浮き上がりを防止し、背ヨーク下部にはパンピングテープ（黒）を挟み込み縫着する。

(5) 袖

袖は 2枚袖でセットイン式とする。袖脇下には通気性を考慮しメッシュ生地を縫着する。
左袖には袖山から 10 cm下に幅 6 cm、縦 14 cmのペン刺しポケットを縫着し中央にステッチを入れる。(別図 4)

(6) 袖口・カフス

カフスには、ヒダの深さ 1.5 cmのタック 2本を外向きに付ける。
シングル裏表 2枚裁ちとし、所定の芯を入れカフス幅は 6 cm巾とし、調整用釦を 3 cm間隔で 2個付ける。剣ボロは巾 2.5 cm、長さは 15 cmとし中央に 13 mm釦を 1個付ける。

(別図 5)

(7) 裾

裾はラウンド型とし、折返しは 0.6 cmの三つ折り仕立とする。

(8) 衿吊・号数表示・片布

上衣裏側衿付け中央に号数表示を挟み込み、衿吊は表生地または当局の承認したものを使用して付ける。
片布は裏側背ヨークの衿吊下に四方たたきにて縫着する。

8. サイズ表

作業上衣（建・健女）



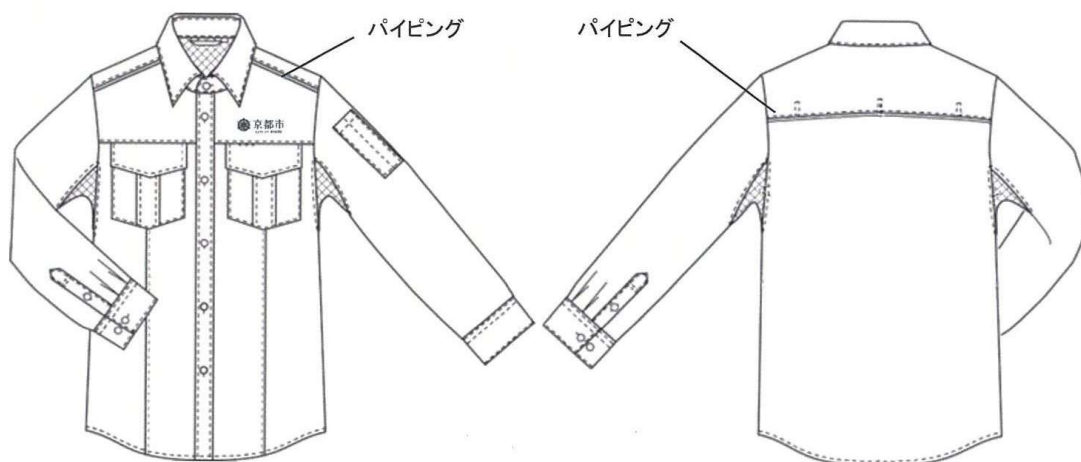
（1） 作業上衣

単位；cm

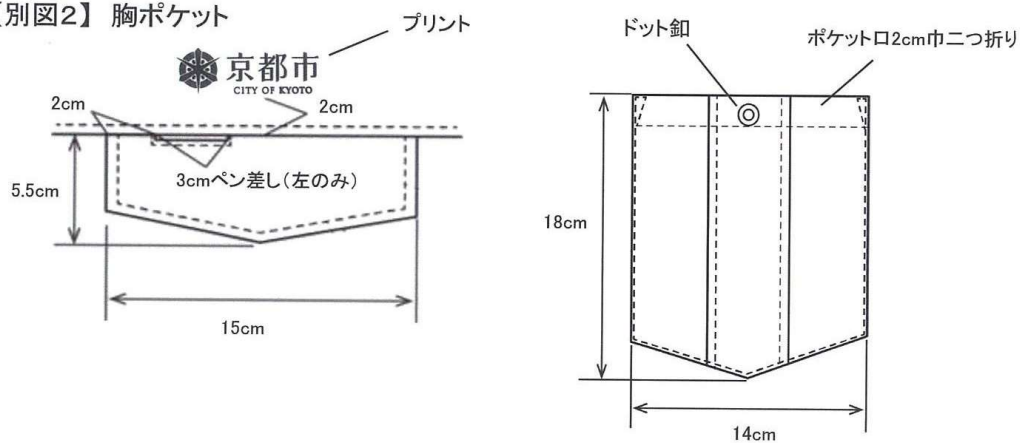
	3 S	2 S	S	M	L	LL	3 L	4 L	5 L
着丈	70	72	74	76	78	78	80	80	80
胸囲	99	103	107	111	115	120	125	130	135
肩幅	40	42	44	46	48	50	52	54	56
袖丈	51	53	55	57	59	61	61	61	61
衿ぐり	36	38	40	42	44	46	48	50	52

※上記以外のサイズは別寸とする。

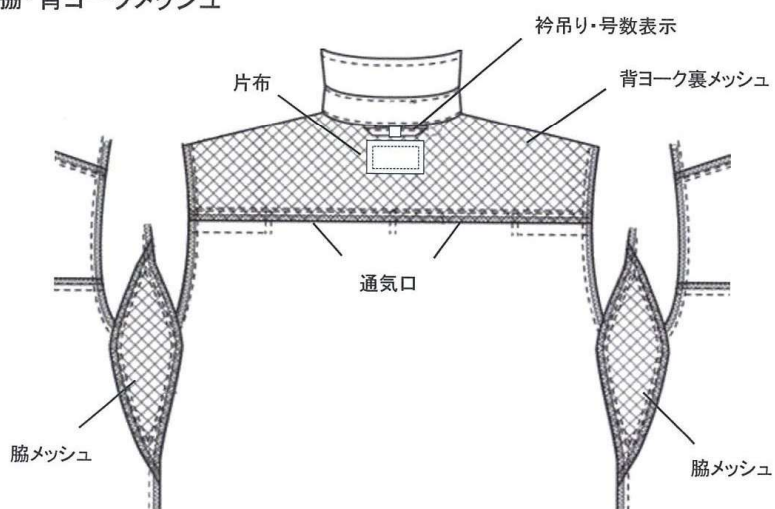
【別図1】



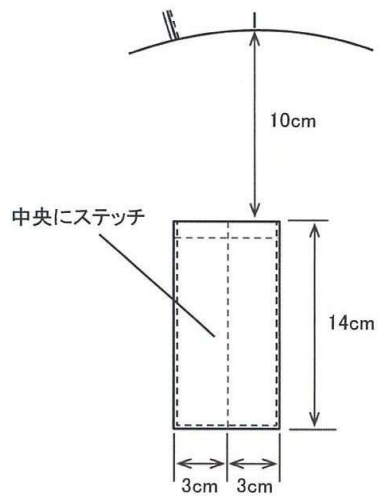
【別図2】 胸ポケット



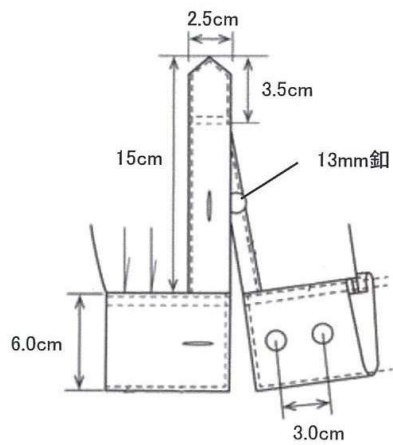
【別図3】 脇・背ヨークメッシュ



【別図4】 左袖ペン差しポケット



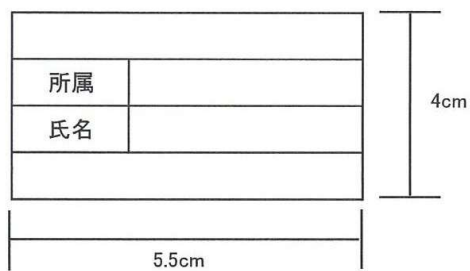
【別図5】 袖口



胸プリント



片 布



【被服名】	作業上衣(建・建女)
【納 期】	令和8年6月30日

サイズ別数量

3S	2S	S	M	L	LL	3L	4L	5L	別寸	合計
28	74	123	151	110	89	56	23	22	35	711